

令和8年2月9日(月)
令和7年度鹿行保健医療圏
地域・職域連携推進協議会

協会けんぽ茨城支部の健康課題 及び健康経営推進について



全国健康保険協会 茨城支部
協会けんぽ

留意点

- ・医療費には外来レセプトに突合できる調剤レセプト分を含みます。
- ・傷病情報が磁気データとして収集されていないレセプトが存在するため、**傷病名が不明なレセプトは除外**しています。
- ・地域別健診受診者のリスク保有割合における使用データは、茨城県内に居住し、健診を受診した被保険者及び被扶養者の情報に限られます。
- ・都道府県別医療費データは、年齢構成を含めた実際の傾向を見るため、年齢調整は行っていません。
- ・地域別医療費の使用データは、協会けんぽ茨城支部加入者における情報に限られ、地域固有の特徴を見るため、年齢調整後の値でグラフを作成しています。
- ・入院の傷病別1人当たり医療費の分析については、突合率(約90%)が不十分であるため参考値となります。
- ・データの都合上、地域別医療費の使用データは請求ベース(レセプト点検による査定分が考慮されていないデータ)のため、全国計で集計しているデータと一致しない場合があります。
- ・生活習慣病にかかる集計疾病分類は、レセプトに主傷病フラグがある場合はその疾病を、主傷病フラグがない場合はレセプトの記載順で先頭の疾病を抽出し、社会保険表章用121項目疾病分類をもとに以下のとおり集計している。

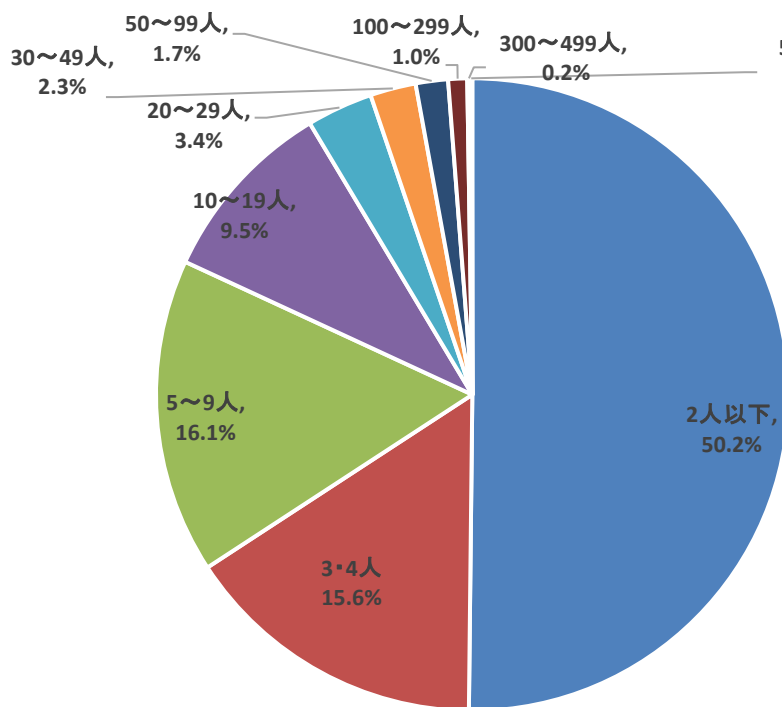
各リスク	判定基準
①腹囲リスク	<ul style="list-style-type: none"> ・内臓脂肪面積が100cm²以上 ・内臓脂肪面積の検査値がない場合は、腹囲が男性で85cm以上、女性で90cm以上
②血圧リスク	<ul style="list-style-type: none"> ・収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上、または高血圧に対する薬剤治療あり
③代謝リスク	<ul style="list-style-type: none"> ・空腹時血糖110mg/dl以上、または糖尿病に対する薬剤治療あり ・空腹時血糖の検査値がない場合は、HbA1c 6.0%以上、または糖尿病に対する薬剤治療あり
④脂質リスク	<ul style="list-style-type: none"> ・中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満、または脂質異常症に対する薬剤治療あり
メタボリック予備群	<ul style="list-style-type: none"> ・①かつ②～④のうち1項目に該当 ・非該当にはメタボリックリスク該当が含まれている
メタボリックリスク	<ul style="list-style-type: none"> ・①かつ②～④のうち2項目以上に該当

茨城支部基本情報

〈 令和6年度データ 〉

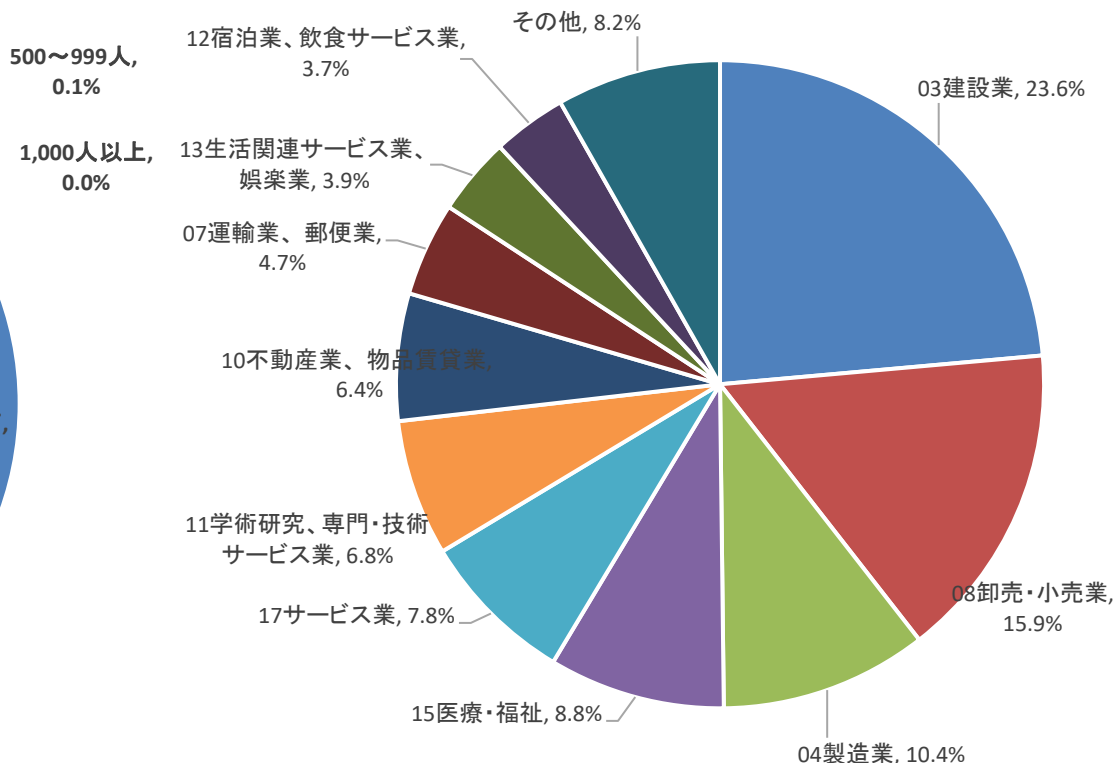
- 茨城支部は48,785事業所、加入者数699,611人（令和7年3月末）
- 従業員数9人以下の事業所が全体の約82%を占める。

○ 茨城支部の事業所規模別構成 (R7年3月末)



**事業所の約82%が
従業員数9人以下**

○ 茨城支部の事業所業態別構成 (R7年3月末)



**建設業で
加入事業所の約24%**

茨城支部二次医療圏 居住地別加入者数

二次医療圏名	構成市町村
水戸	水戸市、笠間市 小美玉市、茨城町 大洗町、城里町
日立	日立市、高萩市 北茨城市
常陸太田・ひたちなか	常陸太田市、ひたちなか市、 常陸大宮市、那珂市、 大子町、東海村
鹿行	鹿嶋市、潮来市、 神栖市、行方市、 鉾田市
土浦	土浦市、石岡市、 かすみがうら市
つくば	常総市、つくば市、 つくばみらい市
取手・竜ヶ崎	龍ヶ崎市、取手市、 牛久市、守谷市、 稲敷市、阿見町、 河内町、利根町、 美浦村
筑西・下妻	結城市、下妻市、 筑西市、桜川市、 八千代町
古河・坂東	古河市、坂東市、 五霞町、境町



二次医療圏・市町村	被保険者	被扶養者	総計
1.水戸	94,186	50,721	144,907
①水戸市	53,976	29,869	83,845
②笠間市	14,881	7,971	22,852
③小美玉市	11,336	5,772	17,109
④東茨城郡茨城町	6,613	3,457	10,070
⑤東茨城郡大洗町	3,626	1,712	5,338
⑥東茨城郡城里町	3,754	1,941	5,695
2.日立	40,149	19,456	59,605
⑦日立市	27,659	13,284	40,943
⑧高萩市	4,786	2,366	7,151
⑨北茨城市	7,704	3,806	11,510
3.常陸太田・ひたちなか	64,279	33,598	97,877
⑩常陸太田市	8,449	4,367	12,816
⑪ひたちなか市	28,240	14,699	42,939
⑫常陸大宮市	7,700	3,953	11,653
⑬那珂市	10,499	5,726	16,225
⑭久慈郡大子町	2,947	1,224	4,171
⑮那珂郡東海村	6,443	3,630	10,074
4.鹿行	54,467	28,056	82,522
⑯鹿嶋市	12,883	7,137	20,020
⑰潮来市	5,398	2,837	8,235
⑱神栖市	20,708	10,649	31,357
⑲行方市	6,474	3,151	9,624
⑳鉾田市	9,004	4,282	13,286
5.土浦	50,038	25,212	75,250
㉑土浦市	27,638	13,931	41,569
㉒石岡市	14,509	7,569	22,078
㉓かすみがうら市	7,891	3,712	11,603
6.つくば	69,476	37,698	107,174
㉔常総市	14,988	7,282	22,270
㉕つくば市	44,895	25,028	69,923
㉖つくばみらい市	9,594	5,387	14,981
7.取手・竜ヶ崎	82,778	44,808	127,586
㉗龍ヶ崎市	15,050	8,148	23,197
㉘取手市	17,441	9,318	26,759
㉙牛久市	13,694	7,783	21,477
㉚守谷市	11,510	6,532	18,041
㉛稲敷市	8,163	3,755	11,918
㉜稲敷郡阿見町	9,469	5,190	14,659
㉝稲敷郡河内町	1,594	750	2,344
㉞北相馬郡利根町	2,415	1,328	3,743
㉟稲敷郡美浦村	3,444	2,004	5,448
8.筑西・下妻	56,754	29,965	86,719
㊱結城市	10,875	5,944	16,819
㊲下妻市	10,064	5,431	15,495
㊳筑西市	22,740	11,847	34,587
㊴桜川市	8,301	4,257	12,558
㊵結城郡八千代町	4,774	2,486	7,260
9.古河・坂東	47,236	25,622	72,858
㊶古河市	27,911	15,311	43,222
㊷坂東市	12,244	6,353	18,597
㊸猿島郡五霞町	1,634	858	2,492
㊹猿島郡境町	5,447	3,100	8,546
総計	559,362	295,136	854,498

二次医療圏別構成割合(加入者数)

水戸	日立	常陸太田・ひたちなか	鹿行	土浦	つくば	取手・竜ヶ崎	筑西・下妻	古河・坂東
17.0%	7.0%	11.5%	9.7%	8.8%	12.5%	14.9%	10.1%	8.5%

※データ:協会けんぽ居住地別加入者基本情報(令和6年度)

※全支部で被保険者登録住所が茨城県内の加入者を抽出

※県外在住者、不明分は除く

※加入者数は年度平均、被扶養者の居住地は被保険者と同一としている

※年度平均としているため、端数整理の関係上、計数が整合しない場合がある

加入者の健康度を高めること

- 加入者の健康状態の把握
- 加入者の健康増進、疾病予防
- 企業における健康づくりを通じた健康増進
- 早期治療の促進



医療費等の適正化

- 加入者の健康増進、疾病予防（再掲）
- 医療の質や効率性向上のための医療提供体制への働きかけ
- ジェネリック医薬品の使用促進
- 健康保険の不適切な利用や不正行為の防止



都道府県別
医療費及び健診データ分析
〈 令和4年度データ 〉

● 医療費

- 加入者1人当たり医療費は全国平均より低い
- 加入者1人当たり医療費の伸びは全国平均より高い
- 加入者の生活習慣病医療費の割合が入院、入院外ともに全国平均より高い
(入院:31.8%(全国30.7%) 入院外:29.4%(全国27.7%))
- 1日当たり医療費が全国平均より高い
(入院:62,843円(全国62,301円)、入院外:14,925円(全国14,162円))

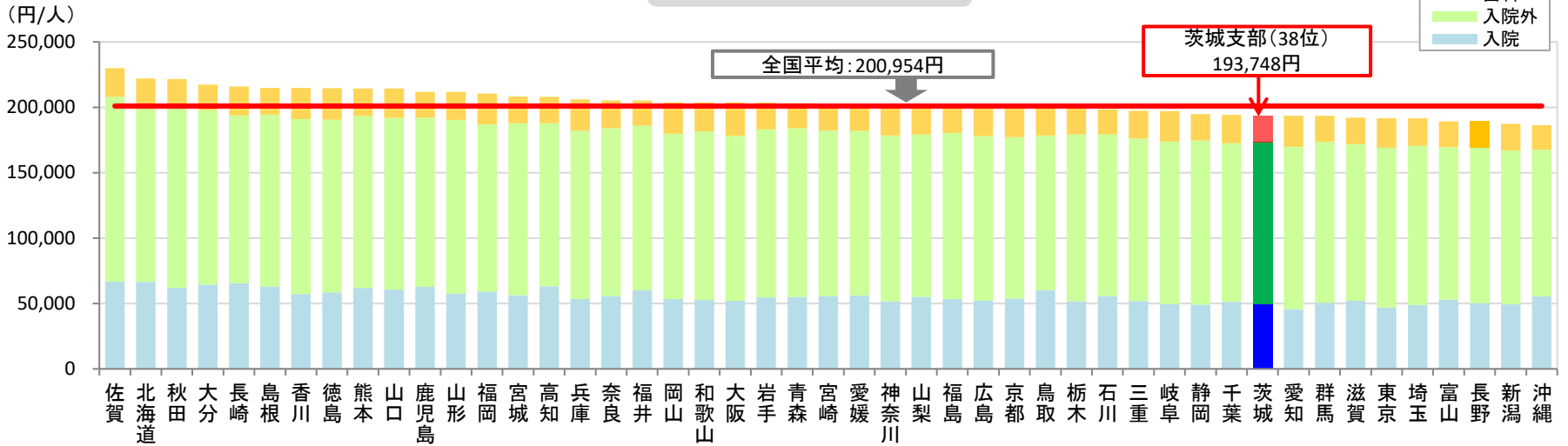
● リスク・生活習慣

- 男女ともに生活習慣病に関連する全リスクの保有率が全国平均より高い
- 男女計のメタボリックシンドローム保有率は、長年、全国ワースト5位
- 運動習慣は少ない
- 加入者の生活習慣病医療費の割合が入院、入院外ともに全国平均より高い
- 「20歳から体重が10kg以上増加」と回答した割合が高い
(男性:51.2%(全国平均49.5%)、女性:33.1%(全国平均30.4%))

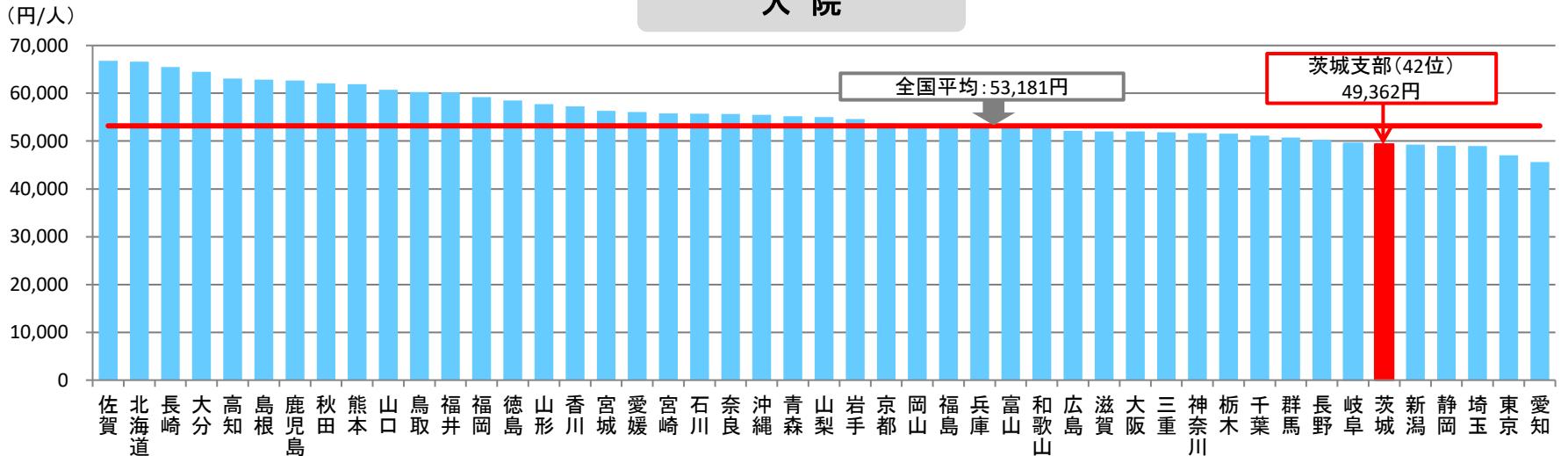
令和4年度 加入者1人当たり医療費

データ: 医療費基本情報、加入者基本情報
年次: 令和4年度

全診療種別



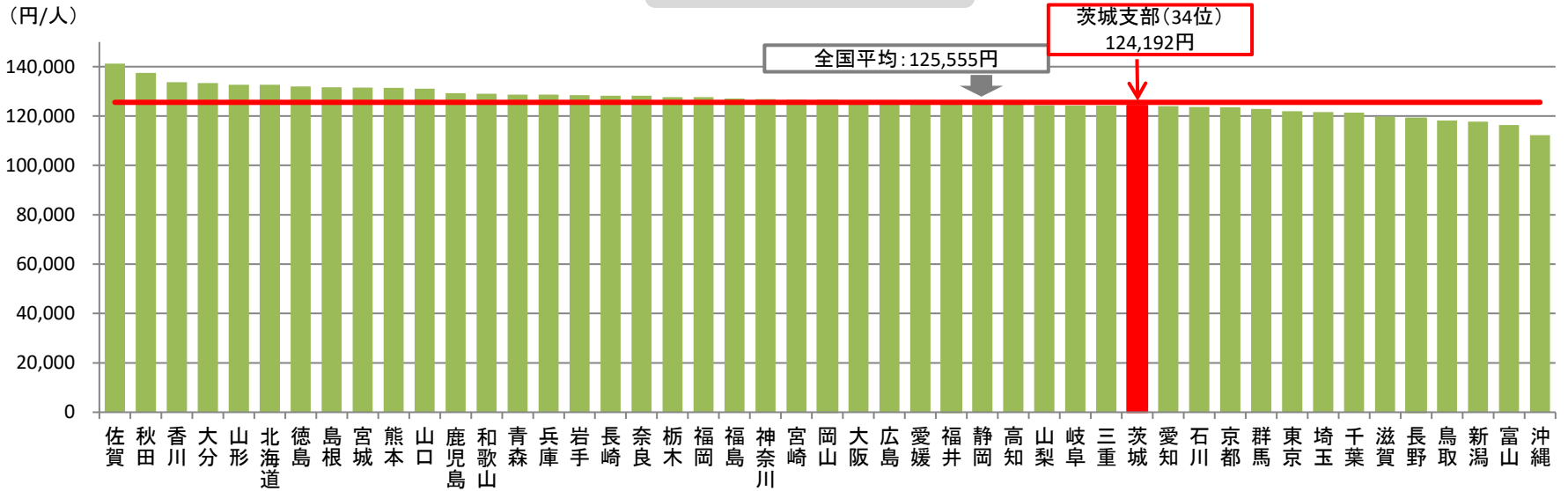
入院



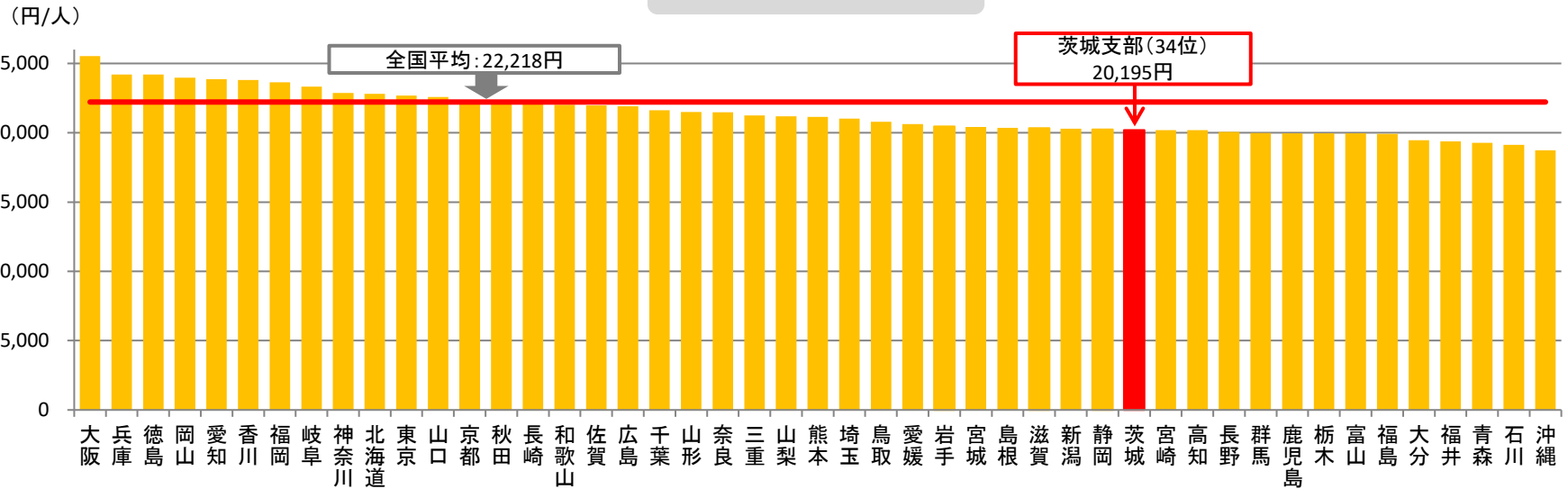
令和4年度 加入者1人当たり医療費

データ: 医療費基本情報、加入者基本情報
年次: 令和4年度

入院外

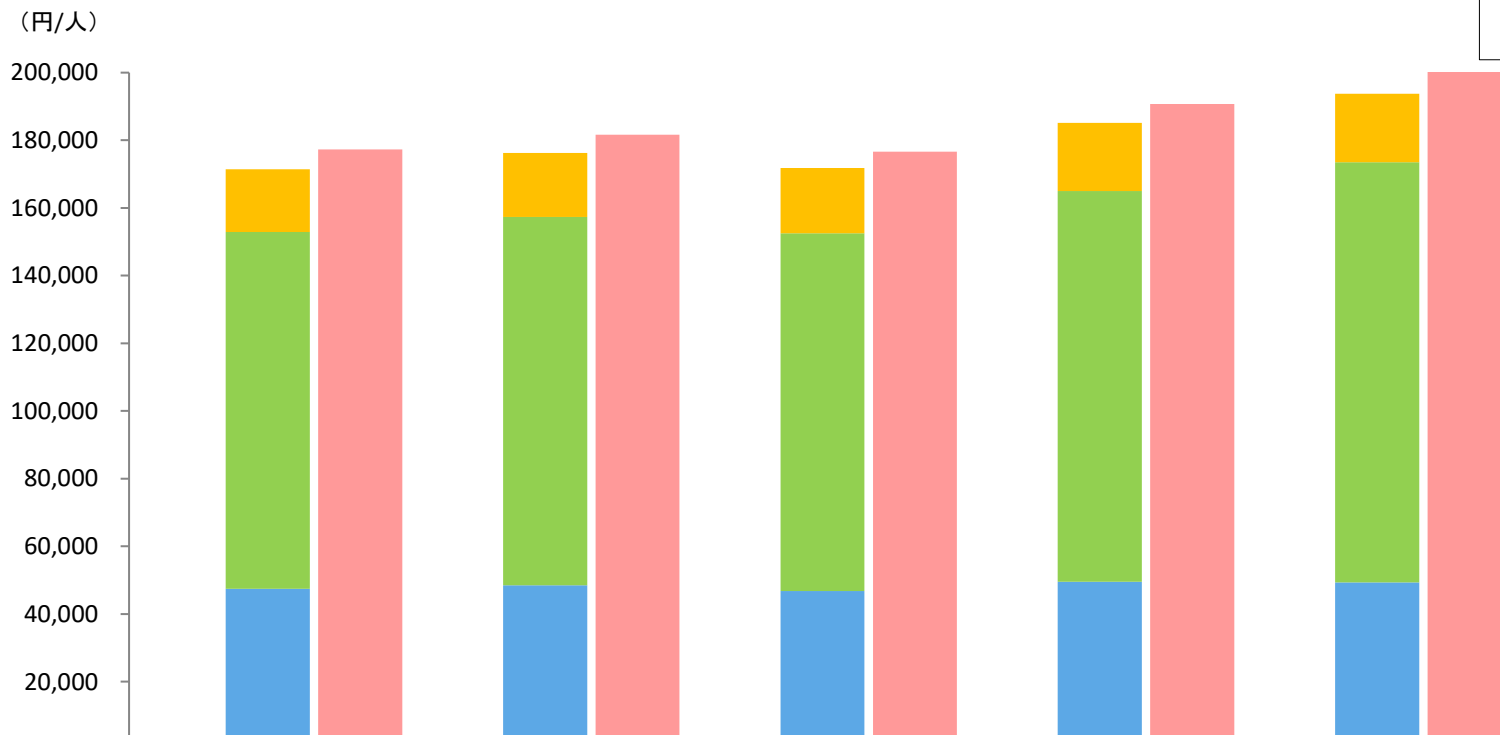
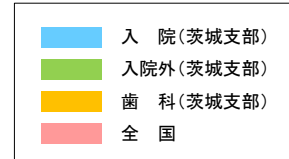


歯科



加入者1人当たり医療費 経年比較

データ: 医療費基本情報、加入者基本情報
年次: 平成30～令和4年度



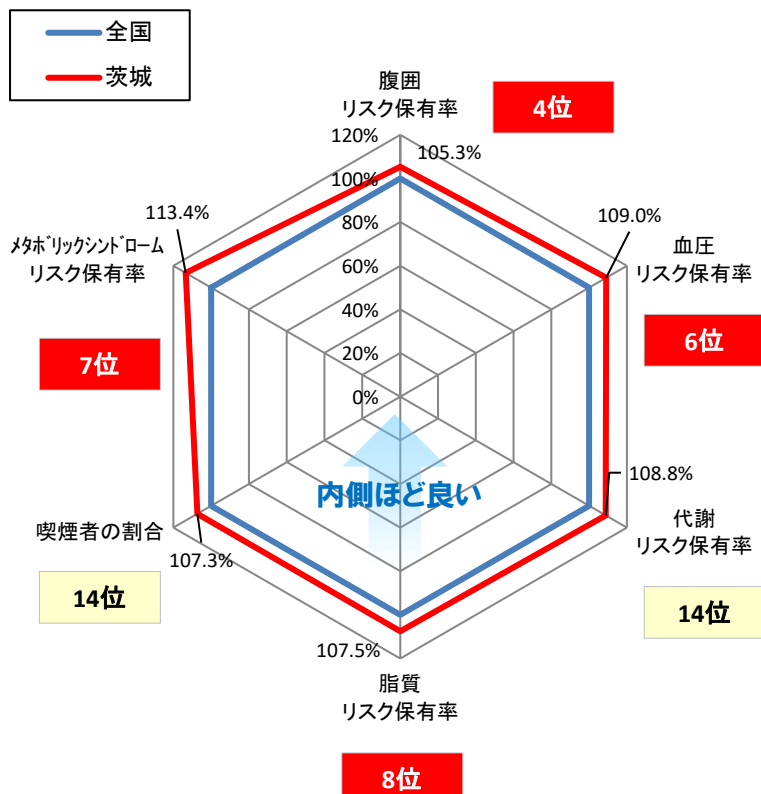
	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
	前年度 伸び率	前年度 伸び率	前年度 伸び率	前年度 伸び率	前年度 伸び率	前年度 伸び率	前年度 伸び率	伸び率			
								前年度対比	H30年度比		
茨城支部	171,465	+3.9%	176,248	+2.8%	171,861	-2.5%	185,108	+7.7%	193,748	+4.7%	+13.0%
全国	177,308	+3.9%	181,661	+2.5%	176,650	-2.8%	190,775	+8.0%	200,954	+5.3%	+13.3%

・茨城支部の加入者1人当たり医療費は、全国平均と比較して低いが、年々増加傾向にある。
・平成30年度からの伸び率について、茨城支部、全国ともに10.0%以上と高い。

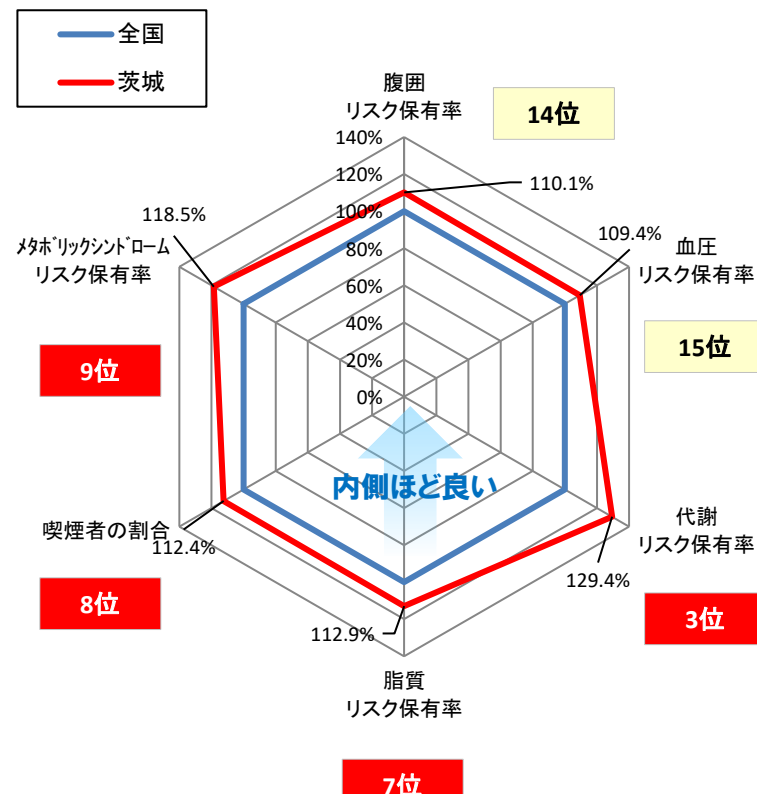
※順位は、リスク保有率がもっとも高い支部を1位としています。

※データは被保険者(35~74歳)が対象の健診結果に基づくため、被扶養者が対象となる特定健康診査データは含みません。

生活習慣病リスク(男性)



生活習慣病リスク(女性)



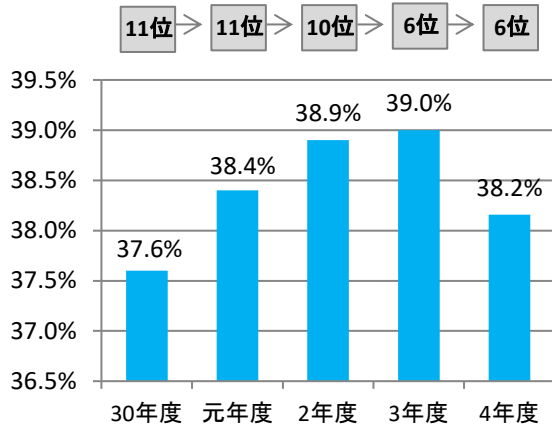
男女ともに全国平均より高い。特にメタリックシンドロームリスク、脂質リスクにおいて男女ともにワースト10位以内である。

リスク保有率の経年変化(茨城支部・男女計)

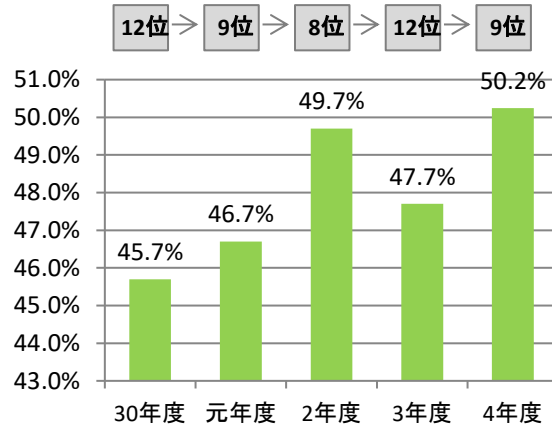
※順位は、リスク保有率が**もっとも高い支部**を1位とし、茨城支部の平成30年度～令和4年度順位変動を表しています。
 ※データは被保険者(35～74歳)が対象の健診結果に基づくため、被扶養者が対象となる特定健康診査データは含みません。

データ:都道府県支部別健診データ
 年次:平成30年度～令和4年度

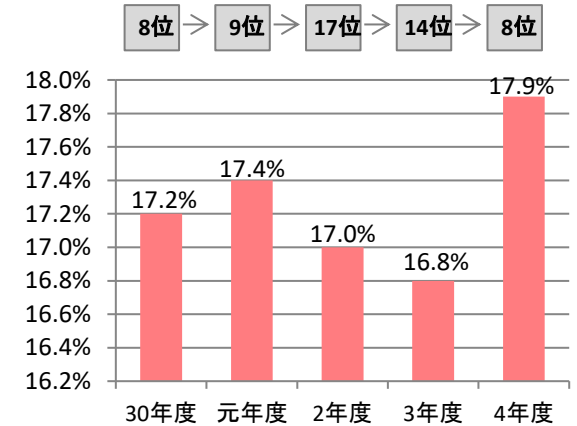
腹囲



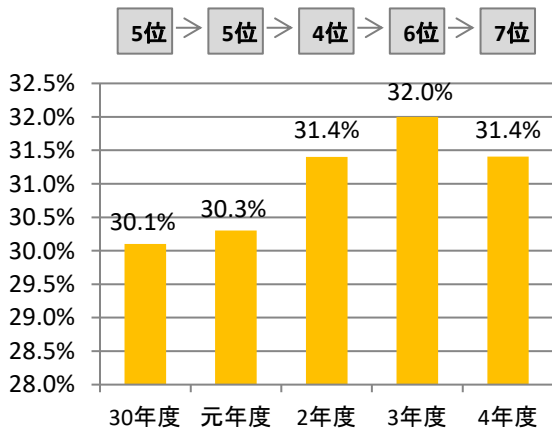
血圧



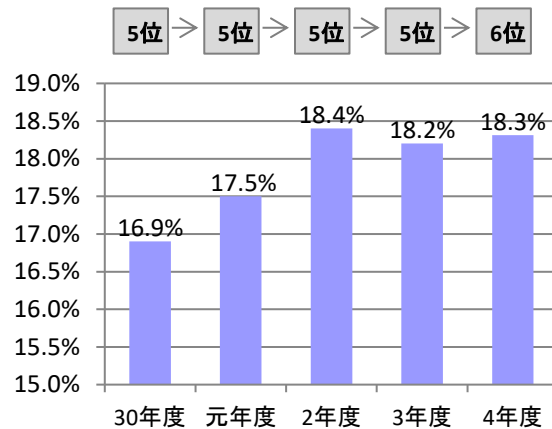
代謝



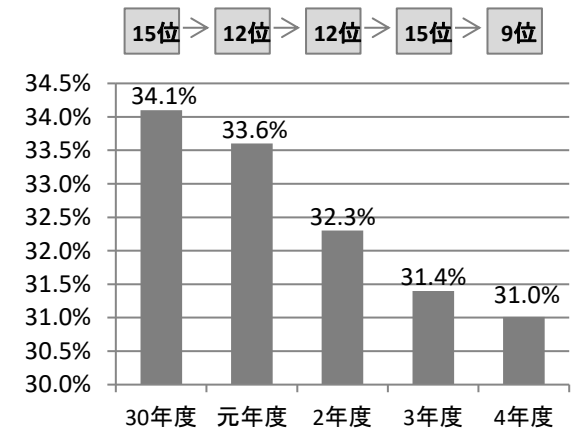
脂質



メタボリックシンドローム



喫煙



二次医療圏別 医療費及び健診データ分析 〈 令和4年度データ 〉

※医療費データは、協会けんぽ茨城支部加入者で、かつ被保険者住所が茨城県内のデータを集計。

※健診データは、協会けんぽ加入者で、かつ被保険者住所が茨城県内のデータを集計したため、前項までの数値とは若干異なる。
(前項までのデータは、協会けんぽ茨城支部加入者(茨城県外在住者も含んでいる))

※質問票データは、協会けんぽ茨城支部加入者で、かつ被保険者住所が茨城県内のデータを集計。

● 医療費

- 加入者1人当たり医療費(全診療)は茨城支部平均を上回っている
- 加入者1人当たり入院医療費は県内二次医療圏の中で2番目に高い
- 加入者1人当たり歯科医療費は県内二次医療圏の中で2番目に低い

● リスク・生活習慣

- 腹囲リスクは県内二次医療圏の中で最も高い
- 代謝、脂質、メタボ、メタボ予備軍、喫煙率は県内二次医療圏の中で2番目に高い
- 朝食を抜く習慣は県内二次医療圏の中で3番目に高い
- お酒を飲む頻度が「毎日」の割合は県内二次医療圏の中で2番目に低い
- 30分以上の運動習慣を行っている割合は県内二次医療圏の中で3番目に低い

鹿行保健医療圏の健診結果等の状況(令和4年度)

※医療費にかかる使用データは協会けんぽ茨城支部加入者のうち、茨城県内居住者の情報に限られ、年齢調整後の値でグラフを作成しています(不明、県外は除く)。

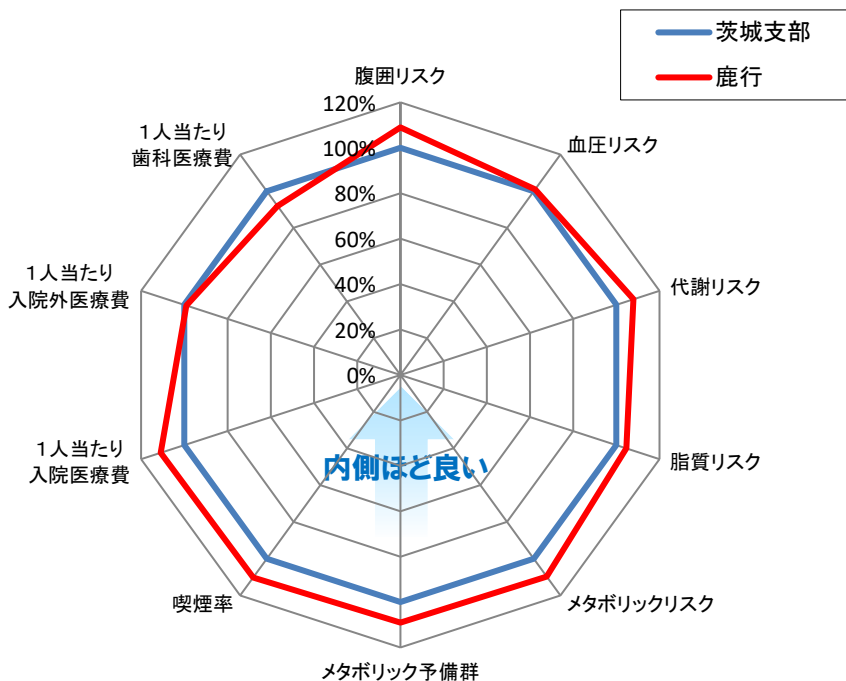
※レセプト点数は外来(調剤を含む)を使用しています。(入院の傷病別一人当たり医療費は、突合率(約90%)が不十分であるため参考値となります。)

※リスク保有率にかかる使用データは協会けんぽ加入者のうち、茨城県内に居住し健診を受診した被保険者(35~74歳)及び被扶養者(40~74歳)のデータに限られ、年齢調整後の値でグラフを作成しています(不明、県外は除く)。

鹿行

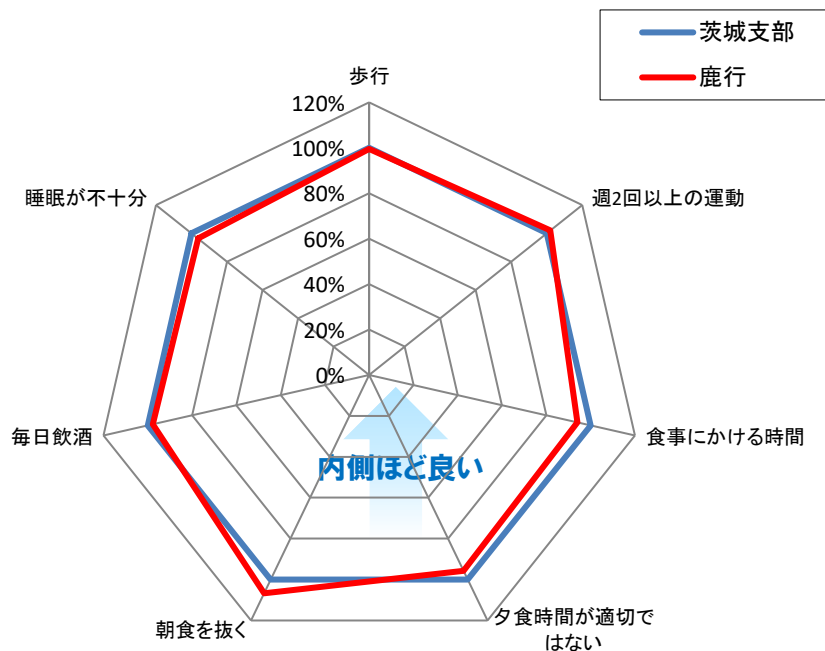
【健診結果の状況】

茨城支部平均を100%とした場合のリスク保有率(男女計)



【参考】茨城支部加入者における生活習慣

茨城支部平均を100%とした場合の割合



令和4年度	腹囲	血圧	代謝	脂質	メタボ	メタボ予備群	喫煙率	1人当たり入院医療費	1人当たり入院外医療費	1人当たり歯科医療費
茨城支部平均	37.0%	49.9%	17.9%	31.2%	17.9%	13.0%	29.5%	49,207	125,565	20,168
鹿行圏域	40.3%	50.3%	19.3%	32.7%	19.6%	14.0%	32.6%	54,582	124,357	18,520
	1位	5位	2位	2位	2位	2位	2位	2位	6位	8位

市町村別比較表(令和4年度健診実績)

市町村名	全体				被保険者				被扶養者			
	受診率・順位	受診者数	対象者数	受診率・順位	受診者数	被保険者数	受診率・順位	受診者数	被扶養者数			
水戸市	59.4%	5	25,360	42,680	68.0%	3	23,391	34,413	23.8%	40	1,969	8,267
日立市	57.1%	12	13,114	22,965	64.1%	10	11,947	18,648	27.0%	21	1,167	4,317
土浦市	56.4%	15	11,884	21,067	63.7%	12	10,910	17,118	24.7%	36	974	3,949
古河市	52.0%	32	11,378	21,875	58.3%	32	10,195	17,500	27.0%	20	1,183	4,375
石岡市	54.6%	21	6,489	11,879	61.3%	25	5,864	9,573	27.1%	19	625	2,306
結城市	50.8%	37	4,477	8,821	58.1%	33	4,105	7,060	21.1%	44	372	1,762
龍ヶ崎市	53.1%	28	6,225	11,733	59.7%	27	5,602	9,378	26.5%	24	623	2,354
下妻市	50.7%	38	4,029	7,944	55.9%	39	3,576	6,397	29.3%	11	453	1,547
常総市	52.8%	30	5,871	11,125	59.0%	29	5,386	9,132	24.3%	38	485	1,993
常陸太田市	57.3%	11	4,252	7,421	62.9%	17	3,736	5,938	34.8%	4	516	1,483
高萩市	55.6%	19	2,324	4,181	63.4%	14	2,125	3,353	24.0%	39	199	828
北茨城市	49.9%	40	3,369	6,747	56.1%	38	3,046	5,428	24.5%	37	323	1,318
笠間市	57.5%	10	7,047	12,259	64.9%	7	6,381	9,836	27.5%	18	666	2,423
取手市	52.4%	31	7,543	14,401	58.3%	31	6,765	11,607	27.8%	16	778	2,794
牛久市	55.3%	20	6,262	11,333	61.7%	22	5,640	9,139	28.4%	15	622	2,194
つくば市	56.4%	16	17,979	31,900	63.3%	16	16,468	26,015	25.7%	30	1,511	5,886
ひたちなか市	58.9%	6	13,066	22,172	67.3%	5	11,965	17,785	25.1%	33	1,101	4,386
鹿嶋市	49.0%	44	5,269	10,762	55.8%	41	4,789	8,580	22.0%	43	480	2,182
潮来市	49.6%	42	2,294	4,624	56.4%	36	2,089	3,704	22.3%	41	205	920
守谷市	49.6%	43	4,440	8,952	55.7%	43	3,975	7,141	25.7%	29	465	1,811
常陸大宮市	56.3%	17	3,586	6,373	63.4%	15	3,280	5,177	25.6%	32	306	1,196
那珂市	57.8%	9	4,941	8,551	64.8%	8	4,446	6,857	29.2%	12	495	1,694
筑西市	55.9%	18	10,254	18,344	62.9%	19	9,319	14,815	26.5%	23	935	3,528
坂東市	51.0%	36	4,876	9,554	56.4%	37	4,333	7,685	29.1%	13	543	1,869
稲敷市	51.1%	35	3,485	6,818	57.0%	35	3,143	5,512	26.2%	26	342	1,306
かすみがうら市	57.0%	13	3,483	6,108	62.9%	18	3,186	5,064	28.4%	14	297	1,044
桜川市	57.0%	14	4,089	7,175	63.6%	13	3,668	5,768	29.9%	9	421	1,407
神栖市	50.3%	39	7,964	15,829	55.9%	40	7,105	12,711	27.6%	17	859	3,118
行方市	54.3%	24	2,845	5,240	61.3%	24	2,582	4,215	25.7%	31	263	1,025
鉾田市	51.7%	34	3,617	6,998	55.7%	42	3,142	5,641	35.0%	3	475	1,357
つくばみらい市	54.5%	23	4,043	7,425	61.8%	21	3,674	5,947	25.0%	34	369	1,478
小美玉市	60.3%	3	5,201	8,624	68.4%	2	4,799	7,013	24.9%	35	402	1,612
東茨城郡茨城町	58.3%	7	3,210	5,506	66.4%	6	2,921	4,402	26.2%	25	289	1,104
東茨城郡大洗町	53.5%	27	1,573	2,940	58.1%	34	1,383	2,382	34.1%	7	190	558
東茨城郡城里町	59.8%	4	1,971	3,297	64.1%	9	1,710	2,667	41.4%	1	261	630
那珂郡東海村	61.0%	2	3,055	5,006	67.3%	4	2,721	4,042	34.6%	6	334	965
久慈郡大子町	58.1%	8	1,534	2,639	62.1%	20	1,372	2,208	37.7%	2	162	430
稲敷郡美浦村	69.7%	1	2,144	3,078	81.6%	1	1,933	2,369	29.8%	10	211	708
稲敷郡阿見町	53.8%	25	3,957	7,349	60.4%	26	3,574	5,918	26.8%	22	383	1,431
稲敷郡河内町	53.8%	26	790	1,469	61.6%	23	705	1,144	26.1%	27	85	326
結城郡八千代町	53.0%	29	1,863	3,515	58.5%	30	1,631	2,789	32.0%	8	232	725
猿島郡五霞町	54.6%	22	787	1,441	63.8%	11	717	1,124	22.0%	42	70	318
猿島郡境町	49.7%	41	2,124	4,275	53.6%	44	1,816	3,388	34.7%	5	308	887
北相馬郡利根町	52.0%	33	1,161	2,233	59.0%	28	1,037	1,757	26.1%	28	124	476

協会けんぽ茨城支部の コラボヘルス(健康経営)事業について

保健事業の目的

協会の基本使命に基づき、加入者の健康度を高めるとともに、医療費等の適正化を目指し、もって加入者・事業主の利益の実現を図る。

保健事業実施における方針

協会における保健事業では、以下の3本柱に取り組んでいる。

- ① 特定健診・特定保健指導の推進
- ② 重症化予防の対策
- ③ コラボヘルスの推進
(事業主等の健康づくり意識の醸成を目指した取組)

茨城支部最重点事業の1つ

特定健診・特定保健指導の推進

- 被保険者の方を対象に生活習慣病予防健診、被扶養者の方を対象に特定健診を実施
- 地域、年齢特性を考慮した集団健診を実施
- 健診結果から健康の保持に努める必要がある方に特定保健指導を実施

重症化予防の対策

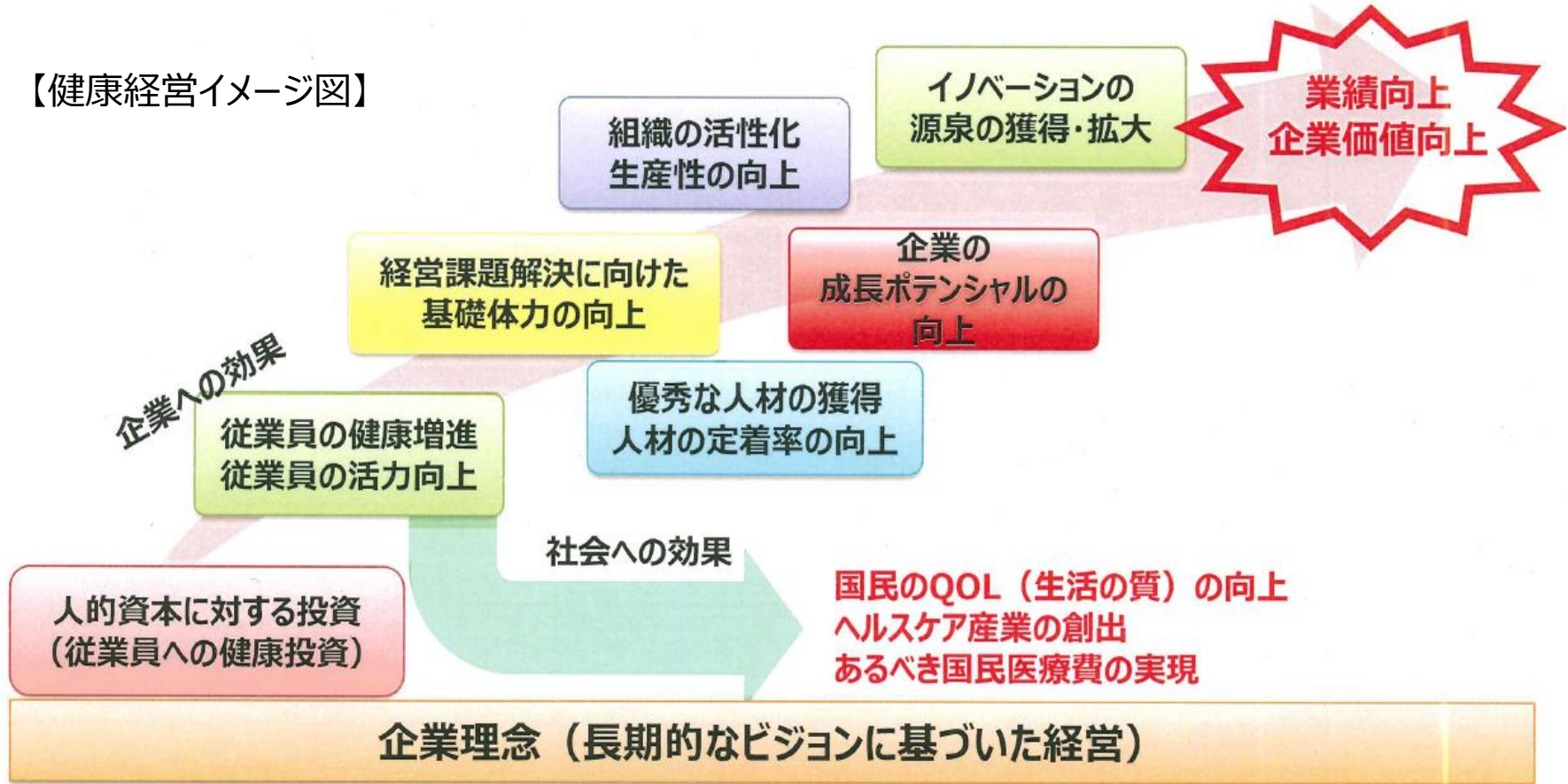
- 健診結果とレセプトから疾病リスクの高い者を抽出し、受診勧奨を実施
- 特に糖尿病、高血圧症、脂質異常症の疾病の悪化を防止
- 虚血性心疾患、脳血管疾患、糖尿病性腎症などの合併症の発生を抑制

コラボヘルスの推進(事業主等の健康づくり意識の醸成を目指した取組)

- 事業所特有の健康課題等を事業主と協会でも共有できるよう、事業所健康度診断シート(以下「事業所カルテ」という。)を提供
- 事業主に職場の健康づくりに取り組むことを宣言していただく健康宣言事業を推進し、事業所の健康づくりの取組を支援

健康経営とは『**従業員の健康**』をコストと考えず、重要な『**経営資源**』として捉え、**積極的に健康づくりに取り組む企業経営スタイル**のことを言います。
 「**従業員の健康**」と「**会社の生産性**」を同時に運用・管理していこうという発想です。

【健康経営イメージ図】



※ 経済産業省資料から抜粋

■ 協会けんぽ茨城支部の健康宣言事業
「健康づくり推進事業所認定制度」

■ 事業開始
平成27年12月から

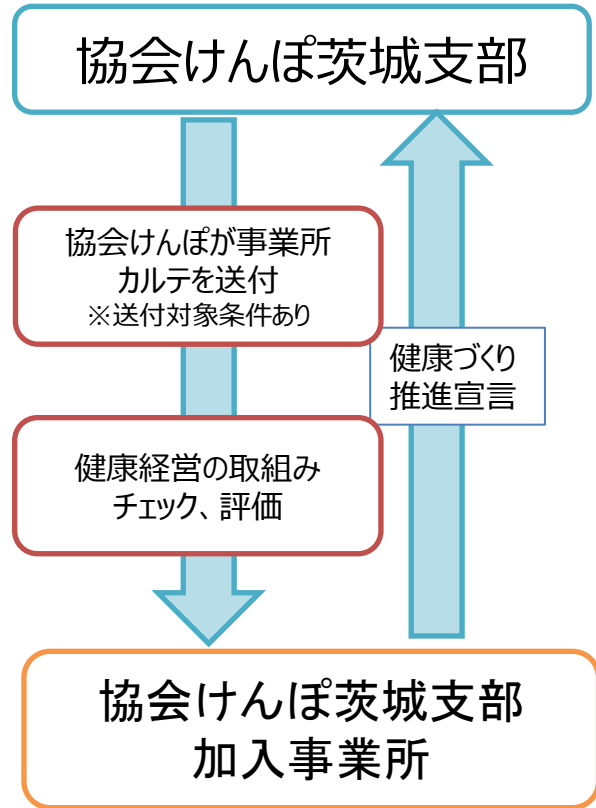
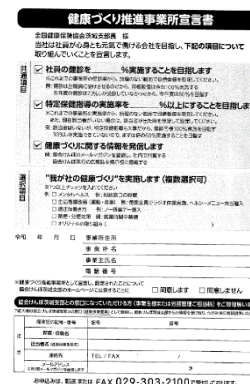
■ 健康宣言項目 (4項目のみ宣言)

1. 社員の健康診断〇〇%実施を目指す
2. 特定保健指導実施率〇〇%以上を目指す
3. 健康づくりに関する情報発信
4. “我が社の健康づくり”を実施
(5項目から1つ以上選択)

■ 認定事業所数
2,285事業所 (令和7年12月末現在)

- 宣言事業所への**無料特典**について
- ・ 事業所カルテ提供 (事業所の健康度が見える化)
 - ・ 健康測定器具レンタル (血管年齢、ストレス 等)
 - ・ 出前健康講座 (メンタルヘルス、熱中症対策 等)
 - ・ ステッカー配布

など



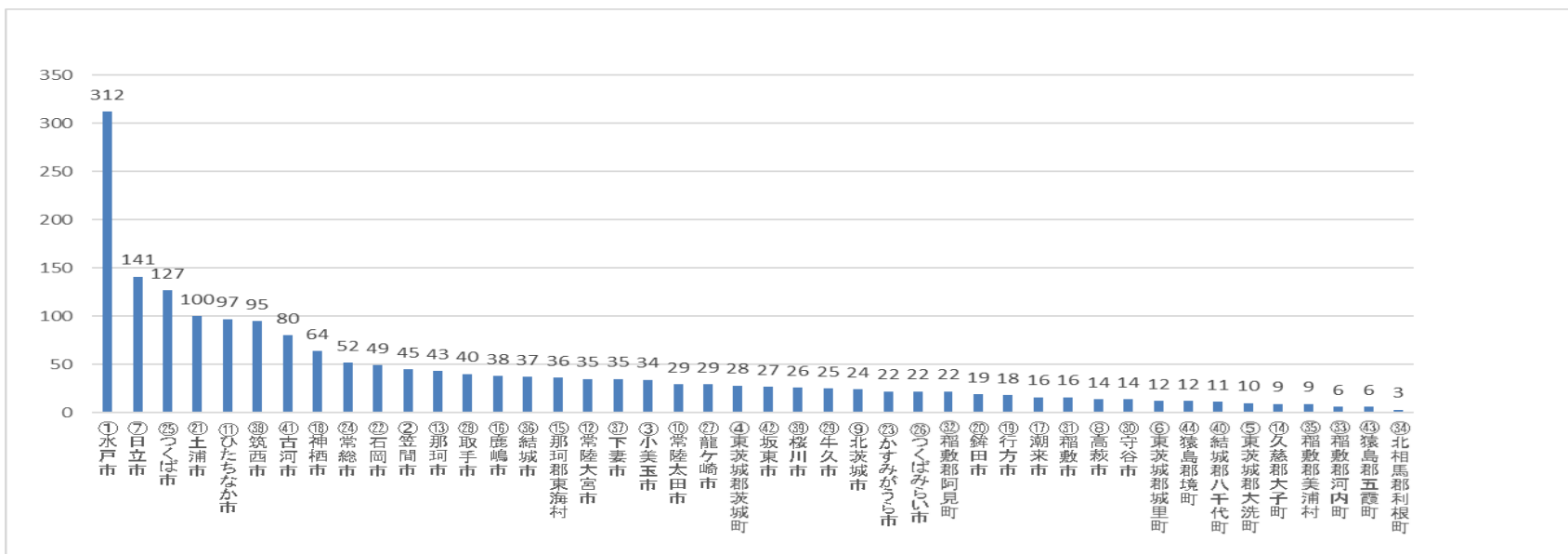
茨城支部の健康経営に関する現状と課題

○ 協会けんぽ茨城支部(健康づくり推進事業所認定制度)の推移(令和7年12月31日時点)

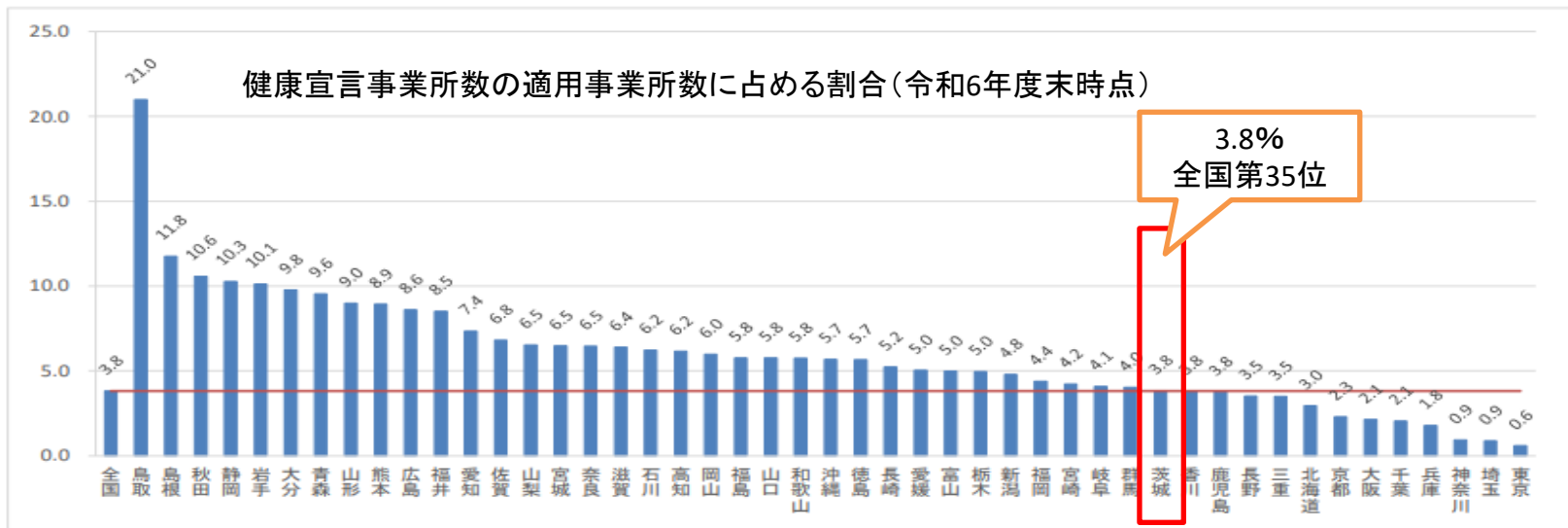
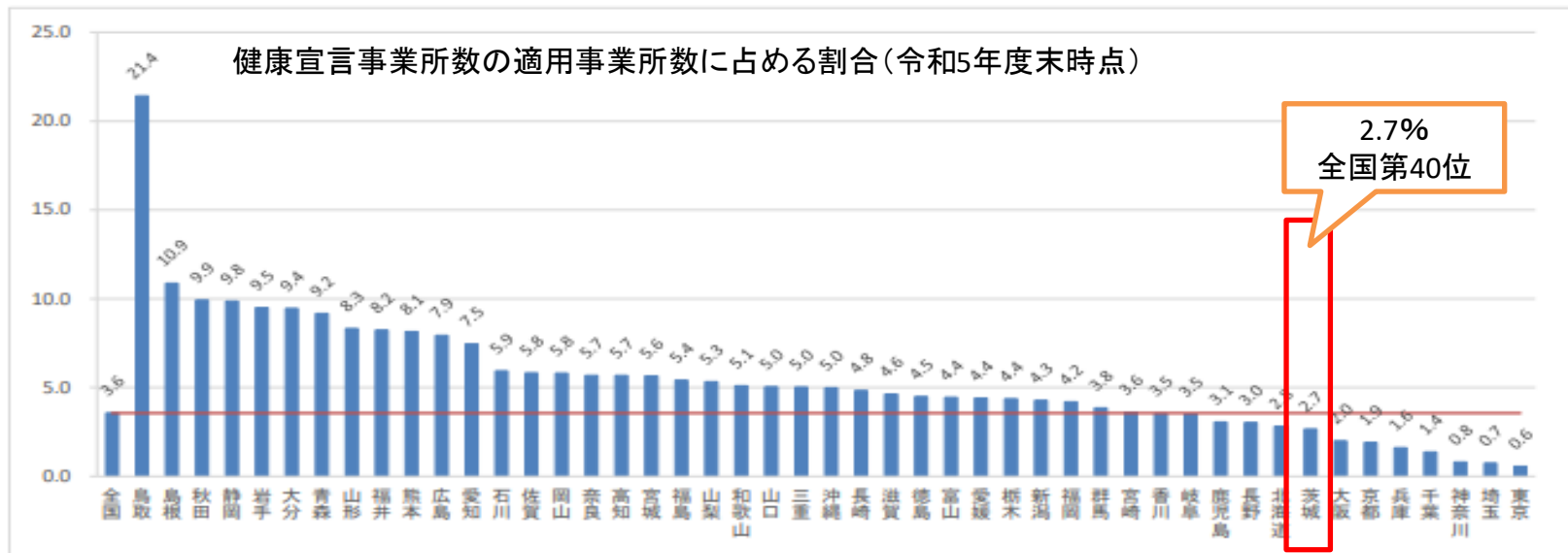
協会けんぽ茨城支部	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	R7.12.31
全支部実績 (累計)	10,318	19,567	31,033	44,959	54,616	68,992	81,526	94,740	105,343	-
茨城支部実績 (累計)	288	417	531	604	637	815	1,026	1,243	1,889	2,285
単年度実績	-	129	114	73	33	178	211	217	646	396

過去最高

○ 市町村別健康宣言事業所数(令和6年度実績)



茨城支部の健康経営に関する現状と課題



※ 令和7年9月30日現在 4.4% (全国第33位) 全国平均 : 3.9%

協会けんぽ茨城支部と地方自治体等の連携状況について

■ 協会けんぽ茨城支部と地方自治体等の連携状況について

※ 令和7年3月31日現在

団体名	協定締結日	団体名	協定締結日
茨城県	H26.2.7	筑波銀行	H27.10.26
水戸市	R4.11.25	常陽銀行	H27.12.7
日立市	R7.3.19		
茨城県医師会	H26.6.30	アクサ生命保険株式会社 水戸支社・つくばFA支社	R3.11.15
茨城県歯科医師会	R1.7.24	大塚製薬株式会社 北関東支店	R3.11.16
茨城県薬剤師会	R1.7.30		
茨城県 茨城県経営者協会 茨城県商工会議所連合会 茨城県商工会連合会 茨城県中小企業団体中央会 健康保険組合連合会茨城連合会	H30.12.26 (7者協定)	明治安田生命保険相互会社 水戸支社・つくば支社	R3.11.19
茨城産業保健総合支援センター	R2.10.27	SOMPOひまわり生命保険株式会社 茨城支社・茨城南支社	R4.12.6
茨城県社会保険労務士会	H29.2.28	第一生命保険株式会社 水戸支社・つくば支社	R4.12.9
茨城県労働局	H28.5.10	AIG損害保険株式会社 茨城支店	R4.12.23
茨城県建設業協会	R6.7.30	東京海上日動火災保険株式会社 茨城支店	R5.12.13
茨城県信用保証協会	R6.9.24	日本生命保険相互会社 水戸支社	R6.9.11
茨城県商工会議所連合会 茨城県社会保険労務士会	R6.11.22 (3者協定)	住友生命保険相互会社 水戸支社	R6.12.17

協会けんぽ茨城支部では、地方自治体等と連携し、特定健診・がん検診・特定保健指導の受診促進、重症化予防、中小企業に対する健康経営の普及等、各種保健事業を連携推進しています。

協会けんぽ茨城支部は多くの関係団体と連携しながら、引き続き健康経営を含む保健事業を推進していきます。

【 参 考 】

1. 概況

(1) 加入者数等

- ①被保険者数 ……………452,818人(うち、任意継続者数2,483人)
- ②被扶養者数 ……………246,793人
- ③加入者数(①+②) ……699,611人

(2)事業所数 …………… 48,785カ所


(3)平均標準報酬月額……………314,346円

2. 現金給付等

高額療養費 ……………	17,645件	傷病手当金 ……………	35,047件
出産育児一時金 ……	5,473件	その他現金給付 ……	177,558件

3. 保健事業

(1) 健診

- ①生活習慣病予防健診受診率 56.9%(全国平均:58.4%) **全国34位**  **健診体系の見直し**
- ②特定健診受診率 28.1%(全国平均:29.4%) **全国33位**

(2) 保健指導

- ①特定保健指導(被保険者) 16.7%(全国平均:20.3%) **全国39位**
- ②特定保健指導(被扶養者) 4.6%(全国平均:17.1%) **全国47位**

(3) 重症化予防

未治療者への受診勧奨(文書勧奨通知後の10ヶ月後受診率) 33.0%(全国平均:33.9%) **全国35位**

(4) コラボヘルス(健康経営®)

健康宣言事業所 1,889事業所(全国計:105,343事業所)

4. その他

ジェネリック医薬品使用割合 89.0%(全国平均:89.1%) **全国29位**

■被保険者の健診

○協会けんぽが実施している健診

生活習慣病予防健診

- 根拠法：健康保険法第150条
- 対象：被保険者（35歳～74歳）
 - 診察等、身体計測、血圧測定、尿検査、血液検査、心電図検査（付加健診により、尿沈渣顕微鏡検査、血液学的検査、生化学的検査など）
- がん検診項目は以下のとおり
 - 便潜血反応検査、胸部レントゲン検査、胃部レントゲン検査※1、子宮頸がん検診※2、乳がん検診※3、腹部超音波検査（付加健診）
 - ※1 本人の希望により胃部レントゲン検査に代えて胃内視鏡検査の実施が可能な場合がある
 - ※2 問診、細胞診（スメア方式（自己採取不可））
 - ※3 問診、視診・触診（医師の判断により実施）、乳房エックス線検査（内外斜位方向撮影。40歳以上50歳未満の対象者については、頭尾方撮影も併せて行う。）

事業者健診から生活習慣病予防健診への切替を促し、がん検診の受診を促進

○協会けんぽ提供以外の健診

労働安全衛生法に基づく定期健康診断（事業者健診）

- 根拠法：労働安全衛生法第66条
- 労働安全衛生規則第44条に規定されたがん検診項目は以下のとおり
 - 胸部エックス線検査及び喀痰検査（医師が必要ないと認めるときは、省略することができる）

■被扶養者の健診

○協会けんぽが実施している健診

特定健診

- 根拠法：高齢者の医療の確保に関する法律第20条
- 対象：被扶養者（40歳～74歳）
 - 診察等、身体計測、血圧測定、尿検査、血液検査（詳細な健診として、心電図検査、眼底検査、貧血検査、血清クレアチニン検査を医師の判断により実施）
- がん検診項目なし

特定健診と市区町村のがん検診との同時受診を促進

○協会けんぽ提供以外の健診

市区町村において実施されるがん検診

- 根拠法：健康増進法第19条の2
- 各自治体において実施されているがん検診
- 基本的ながん検診は以下のとおり
 - 胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、子宮がん検診、乳がん検診

保健事業の一層の推進に係る実施内容について

- 令和8年度から、35歳以上の被保険者を対象に人間ドックに対する費用補助を実施するほか、生活習慣病予防健診の一般健診について、新たに20歳、25歳、30歳を対象とします(胃・大腸がん検診の検査項目を除く)。
- 従来40歳から5歳刻みで一般健診に追加可能としていた付加健診について、一般健診及び付加健診の項目を統合し、新たに「節目健診」を新設します。また、40歳以上の偶数年齢の女性を対象に骨粗鬆症検診を実施します。
- 令和9年度から、被扶養者を対象とした健診について被保険者に対する見直し後の人間ドックや生活習慣病予防健診と同等の内容に拡充します。なお、制度変更後の健診体系では被保険者と被扶養者の健診内容等は同一となりますが、現行の被扶養者に対する特定健診については引き続き実施します。

健診の種類		受診対象者の年齢			
		～19歳	20～34歳	35～39歳	40～74歳
人間ドック				35歳以上の方(毎年受診可)	
生活習慣病予防健診等	節目健診			40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳の方	
	一般健診			35歳以上(毎年受診可)	
	一般健診(若年)		20歳、25歳、30歳の方		
	子宮頸がん検診		20歳以上の偶数年齢の女性		
	乳がん検診			40歳以上の偶数年齢の女性	
	骨粗鬆症検診			40歳以上の偶数年齢の女性	
	肝炎ウイルス検査		一般健診を受診する方(過去に受けた方は除く)		
特定健診				40歳以上の被扶養者	

令和7年度

がん検診項目受診後の受診勧奨の実施等

- ▶ 「胸部X線検査」において要精密検査・要治療と判断されながら、医療機関への受診が確認できない者に対して受診勧奨を実施。なお、この取組については、令和6年度に保険者努力重点支援プロジェクトの中で、3支部（北海道・徳島・佐賀）において外部有識者の助言も得ながら実施中。
- ▶ 事業所に対するメンタルヘルスに関するセミナー及び出前講座の実施に係る体制を整備。

人間ドックに対する補助の実施

- ▶ 年齢や性別による健康課題に対する健診の選択肢の拡大と、より一層の健康意識の醸成及び実施率の向上を図るため、35歳以上の被保険者を対象に一定の項目を網羅した人間ドックに対する定額補助(25,000円)を実施。
- ▶ 円滑な制度開始及び健診実施機関の質の確保の観点から、人間ドック補助実施機関は、日本人間ドック・予防医療学会／日本病院会、日本総合健診医学会、全日本病院協会、全国労働衛生団体連合会が実施する第三者認証を取得していることを条件にするほか、特定保健指導の実施体制を有すること等を条件とする。

令和8年度

若年層を対象とした健診の実施

- ▶ 就業等により生活習慣が大きく変化する若年層に対して、早期に生活習慣病対策を行うことや健康意識の向上等を目的に生活習慣病予防健診に新たに20歳、25歳、30歳の被保険者も対象とする。
- ▶ 検査項目については、国の指針等を踏まえ、生活習慣病予防健診の項目から、胃・大腸がん検診の検査項目を除いたものとする。

生活習慣病予防健診の項目等の見直し

- ▶ 健康日本21(第三次)の内容等も踏まえ、40歳以上の偶数年齢の女性を対象に骨粗鬆症検診を実施する。
- ▶ 生活習慣病予防健診の検査項目や健診単価については、協会発足以来、見直しを行っていないことから、国の指針やマニュアル、人件費の高騰や診療報酬改定等を踏まえ、健診の内容及び費用について別途検証・見直しを行う。

令和9年度

被扶養者に対する健診の拡充

- ▶ 被扶養者に対する健診について、被保険者に対する見直し後の人間ドックや生活習慣病予防健診と同等の内容に拡充する。なお、現行の特定健診の枠組みは維持する。